たはらアルプス 植物ガイド

イカリソウ
花期 4月～5月
明るい雑木林に生える。錨のような花の形をしていることからこの名前が付きました。

マキノスミレ
花期 4月
シハイスミレの変種です。愛知県東部はマキノスミレの分布域の西端です。

シュンラン
花期 3月～4月
乾燥した落葉樹林に生える多年草で花茎の先に淡黄緑色の花が1個開花します。

ササユリ
花期 6月～7月
山地の草原や明るい森林に生育します。和名は笹ユリで、葉が笹に似ていることに由来します。

ヤクシソウ
花期 8月～11月
その姿が薬師如来の背の御りに似ることからついたという話もあります。

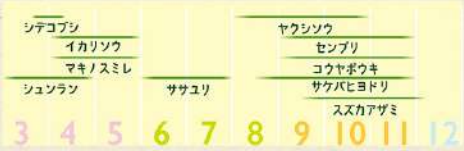
センブリ
花期 9月～11月
山野の乾いた草地に生育し、古くから胃腸薬として知られています。

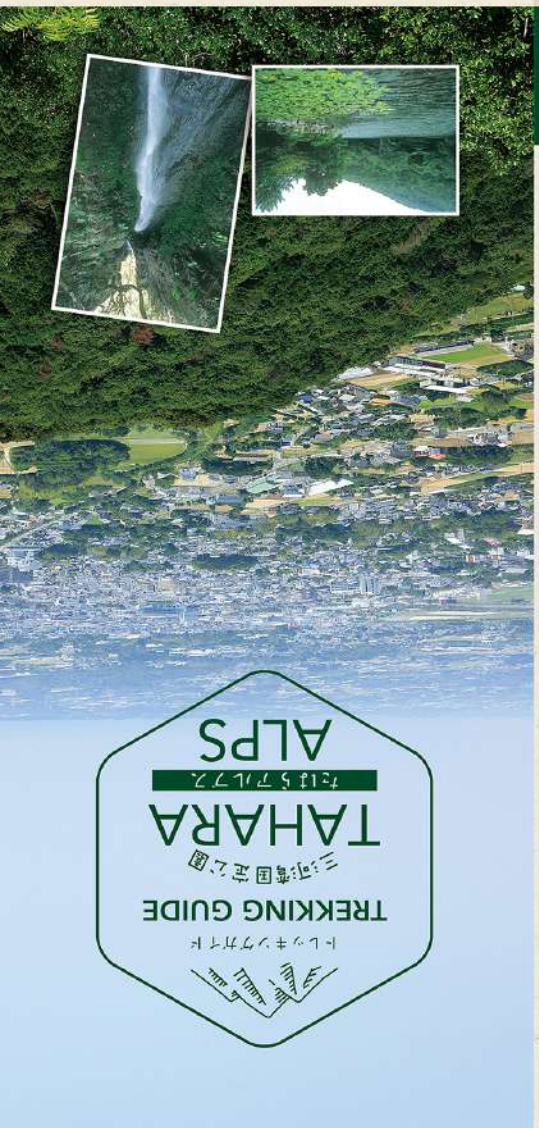
コウヤボウキ
花期 9月～11月
山地の日当たりの良い場所に生え、花蜜はアサギマダラが好みます。

サケバヒヨドリ
花期 9月～11月
山地に生えるキク科の植物です。筒状花は白色、まれに紫色を帯びます。

スズカアザミ
花期 9月中旬～12月上旬
東海地方、近畿地方に分布するアザミです。和名は鈴鹿アザミの意味です。

植物カレンダー





トレッキングコース

蔵王山展望コース ▲蔵王山 標高 250.1m

ファミリー 約90分

権現の森 P 5分 → 三ツ岩自然歩道入口 5分 → 慰霊碑 10分 → 分岐 5分 → ふくしば広場 5分 → 蔵王権現堂 10分 → 蔵王山展望台 5分 → 見晴台 15分 → ふくしば広場 10分 → 熊野三所権現 5分 → 酒倉池 5分 → 権現の森 P 15分

藤七原湿地と衣笠山コース ▲衣笠山 標高 278.4m

初級者 約135分

藤七原湿地 P 30分 → 林道 10分 → 林道分岐 15分 → 防火水槽 30分 → 衣笠山山頂 10分 → 小衣笠 20分 → 登山口 衣笠自然歩道入口 20分 → 藤七原湿地 P

稲荷山尾根縦走コース ▲稲荷山 標高 99.6m

初級者 約120分

衣笠市民館 P 15分 → 滝頭公園 20分 → 不動滝 15分 → 不動岳 15分 → 赤松山 15分 → 扇原展望台 30分 → とんび岩 5分 → 衣笠学習の森 5分 → 衣笠市民館 P

衣笠山と滝頭山展望コース ▲滝頭山 標高 256.4m

初級・中級者 約195分

滝頭公園 P 10分 → 滝頭不動 10分 → 滝頭不動滝 10分 → 恐竜の背 45分 → 滝頭山山頂 5分 → 仁崎峠 40分 → 衣笠山山頂 30分 → 登山口 衣笠自然歩道入口 45分 → 滝頭公園 P 10分

稲荷山と藤尾山縦走コース ▲藤尾山 標高 207.7m

初級・中級者 約240分

2台必要 スタートとゴールが別の場所です

稲荷社 P 20分 → とんび岩四阿 5分 → 稲荷山 25分 → 扇原展望台 15分 → 赤松山 15分 → 不動岳 20分 → 三ツ俣 15分 → 藤尾山 15分 → 三ツ俣 20分 → 中西山 20分 → 滝頭山 70分 → 滝頭公園 P

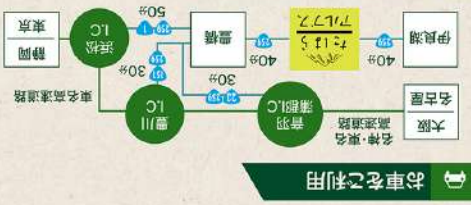
たはらアルプス縦走コース

中級・健脚者 約250分

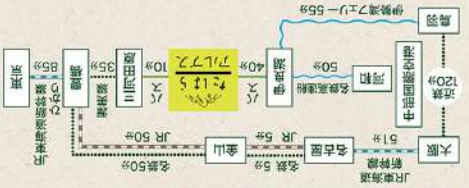
滝頭公園 P 10分 → 登山口 衣笠自然歩道入口 45分 → 衣笠山山頂 30分 → 仁崎峠 40分 → 滝頭山山頂 15分 → 中西山 15分 → 三ツ俣 10分 → 藤尾山 10分 → 三ツ俣 15分 → 不動岳 10分 → 赤松山 10分 → 扇原展望台 15分 → 稲荷山 20分 → 衣笠市民館駐車場 15分

アルプスMAP

お車をご利用



公共交通機関をご利用



発行 | 田原区〈滝頭公園〉TEL.&FAX 0531-22-3936
協力 | 愛知県田原市・渥美半島観光ビューロー
制作/株式会社 シンワ

滝頭公園HP

トレッキングを楽しむ

服装

街中よりも紫外線が強いので日焼け予防や熱中症予防にも必要。

クツ

20ℓ前後でOK。上着に重たい物をパッキングするとお歩きやすい。

杖

斜面や滑る凍結のある場所の歩行や、大切な膝へ負担を軽減して歩くために。体温や気温の変化に応じて調整できるようなものを。

パンツ

歩きやすいストレッチ素材、速乾性のある繊維材がおすすめ。

トレッキングシューズ

ストーンガードや深めのくぐぐ(空気穴)があり、滑って転ぶ、ケガをする、などの危険を防ぎます。

持ち物

◆地図 ◆スマホ ◆行動食 ◆飲み物 ◆健康保険証 ◆雨具 ◆ケガル ◆ゴミ袋 ◆ティッシュ ◆救急用品

覚えておいて トレッキングマナー

すれ違いは登り方が優先。止まるときは山側ですれ違う時は登る人を優先させることが基本。左右が斜面の道を譲るときは、止まる人が山側、歩く人が谷側。ザック(荷物)は相手に当たらないように山側に向けましょう。

ゴミを持ち帰る

ゴミ箱のビニール袋を必ず持参しましょう。全ゴミが出るとゴミステーション付の袋を使うと良い仕上がりにすることができます。

植物を採集しない

花だけでなく植物、動木なども採集することはNG。植生を守り自然環境を保護することは、未来に素晴らしい自然遺産を残すための登山者の義務です。